

医療法人医誠会と地域医療機関との話合いの状況

現在の医誠会病院、城東中央病院の所在区および、新病院予定地における医療機関に対し、基本構想案に沿って医療法人医誠会が担う医療機能等について法人から説明をされ、質疑応答を行ったところです。

○実施日

東淀川区 令和元年 8 月 1 日（木）

城東区 令和元年 8 月 2 日（金）

北区 令和元年 8 月 8 日（木）

○主な質疑内容

質問等	回 答
①病床機能転換の考え方について	<ul style="list-style-type: none"> • これだけの機能を有していくためには、経営上の事を含め、すべて急性期でないと難しいと考えているため、回復期・慢性期を急性期に転換している。（東淀川・北） • 救急件数が多くなっており、現状でも急性期病床は不足している。新規診療科もあるため、さらに急性期病床が必要であると考えている。（北）
②救急医療について	<ul style="list-style-type: none"> • 「断らない救急」を目指しており、他院が受けにくい患者を広域から受けていきたい。（東淀川・城東） • 現在でも北区や旭区から年間 1800 件の救急が搬送されている。移転に伴い、救急の流れが変わると思う。（東淀川・城東） • 救急患者 6000 人のうち、1400 人が南から、1000 人が吹田や豊中市から来ている現状がある。（北）
③精神科診療について	<ul style="list-style-type: none"> • 入院では、認知症等精神科疾患を合併した患者を、一般病床で受入れていきたい。（東淀川・北） • 外来機能を中心に強化していきたい。（東淀川・城東・北）
④外国人医療について	<ul style="list-style-type: none"> • 地域医療を壊すようなことではなく、外国人に対するニーズがあるので、今までに培ったノウハウを活用して提供していきたい。（東淀川・城東）
⑤現在の入院・通院患者への対応について	<ul style="list-style-type: none"> • 城東中央病院の入院患者は、区内だけでなく、他区や市外など広域からの患者が多い。今後、紹介元病院とも十分に調整し、転院や、回復期～在宅医療の強化を考えているグループ内の施設で、受け入れを検討していきたい。（城東） • 医誠会病院の通院患者については、来年度くらいから、患者さんの希望を聞きながら、紹介をしていく必要があると考えている。（東淀川）
⑥近隣医療機関や住民に対する周知について	<ul style="list-style-type: none"> • ホームページで周知しており、不安や心配な方には、病院内に設置している窓口で、状況を説明している。詳細が決まれば、説明会を開催していきたい。（東淀川）

⑦新規標榜科の医師確保について	<ul style="list-style-type: none"> 心療内科、精神科、産科、小児科、歯科口腔外科、眼科、耳鼻科を新規で開設する予定である。(東淀川・城東・北) 精神科は他府県に病院がある。産科、小児科については、大阪大学等の大学の協力を得る予定である。大学からの協力が困難な診療科は、広く全国的に医師確保を行う予定である。(東淀川)
⑧その他	<ul style="list-style-type: none"> 研修指定病院として、初期研修は、今年度3名、来年度4名の予定であり、後期研修について、現在は麻酔科と救急診療科が基幹型であるが、内科についても基幹型病院としてやっていきたい。(東淀川) 建物は、道路を挟んで北と南にわかれるが、片方の棟には賑わい施設が求められており、劇場やフィットネス施設などが入る予定である。(東淀川・北) 病院の跡地活用については、地域の意見も聞きながら進めていくが、現在はまだ何も決まっていない。(東淀川・城東)

○その他の地域医療機関からの意見

(東淀川)

- 医誠会病院は、東淀川区民の身近な病院であり、今後も定期的に話し合いができれば、我々も安心できるので、お願いしたい。

(城東区)

- 城東中央病院の慢性期病床がなくなることは大変だと感じているが、跡地利用として受け入れる施設を考えてほしい。

(北区)

- 急性期については十分なパワーがあり、ダウンサイジングが検討されている状況である。困っているのは、回復期が不足している事であるので、その部分を担ってほしい。
- 急性期機能への転換は、医誠会の経営面からのことであり、患者は望んでいないのではないか。
- 基本構想(案)が出てきたので、ここからがスタートであると考えている。北区においては、病診連携が重要であることを認識いただきたい。